

連立方程式の解き方(2)

加減法

次の連立方程式では、①と②の式の左辺どうし、右辺どうしを加えると、 x を消去できる。

$$\begin{cases} x - 5y = -2 \\ -x + 2y = -1 \end{cases} \quad \cdots \text{①} \quad \cdots \text{②}$$

$$\begin{array}{r} \textcolor{red}{\cancel{x}} - 5y = -2 \\ +) - \textcolor{red}{\cancel{x}} + 2y = -1 \\ \hline \textcolor{red}{\cancel{x}} - 3y = -3 \\ x \text{を消去} \end{array}$$

このように、連立方程式の左辺どうし、右辺どうしを加えたり引いたりすることで、一方の文字を消去して解く方法を、**加減法**という。

【1】次の連立方程式を加減法で解きなさい。

$$(1) \begin{cases} x - 5y = -2 \\ -x + 2y = -1 \end{cases}$$

$$(2) \begin{cases} 2x - y = 1 \\ 3x - y = 5 \end{cases}$$

答え答え

$$(3) \begin{cases} x - 2y = 5 \\ 2x + 3y = -4 \end{cases}$$

$$(4) \begin{cases} 2x - y = 9 \\ 3x + 4y = 8 \end{cases}$$

答え答え